

平成 30 年度 施策評価表

施策(章)		第 5 章『産業・経済』						
まちづくりの目標	資源・特性を活かし 産業の活性化やにぎわいの創出を進めます							
分野別計画・指針	所沢市産業振興ビジョン、所沢農業振興地域整備計画、農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想、所沢市中心市街地活性化基本計画							
予算額	平成30年度当初予算	100,250	百万円中	1,196	百万円	構成率	1.2	%
基本構想で掲げたまちづくりの目標の実現に向けた主な方針								
◆ 所沢の顔としての中心市街地の活性化								
◆ 雇用の確保及び創出のための取り組み								
◆ 地産地消の推進								
◆ 優良農地の保全と農業後継者の育成								
◆ 所沢の特性に合った工業の振興								
基本構想で掲げた「市の課題・方向性」への取り組み状況に対する振り返り								
<p>○平成28年、29年度の2ヵ年事業で、10年先を見据えた所沢市産業振興ビジョンを策定した。</p> <p>○企業誘致の推進を図るため、企業立地支援制度のチラシやポスターを作製し、PRを各方面に行った。</p> <p>○農商工連携により地域資源活用・ものづくり総合支援補助等を活用して地元産農産物を使った地域ブランドづくりを進めた。</p> <p>○COOL JAPAN FOREST構想に掲げられた、旧コンポストセンター跡地の利活用に係る基本計画の策定及び残存施設の解体・改修工事の実施設計を行うとともにPFI方式による利活用方法を検討した。</p> <p>○今後増加が見込まれる外国人観光客に対応していくため、観光案内パンフレットや観光案内板の多言語対応を実施した。</p> <p>○訪日外国人観光客の関心の高いトトロの森に隣接した散策路にトイレを設置した。</p> <p>○地産地消を推進するため、「体験学習型所沢農産物PR事業」や「採れたて！農産物直売 とことこ市」を月2回開催。また、所沢農産物オリジナルシールやのぼり旗を作成するとともに、年2回農業情報紙「とことこだより」を作成し行政回覧等にて配布を行い所沢農産物の周知及び消費拡大に努めた。</p> <p>○狭山茶産地の認知度を高め、一層のブランド化を図ることを目的とし、狭山茶の特色である「自園・自製・自販」の農業システムの農業遺産への認定申請に向け、県内11市町により平成29年7月「狭山茶農業遺産推進協議会」を設立した。また申請に要する自然環境調査を平成29年4月より平成30年3月まで実施した。</p> <p>○経営基盤を強化するため認定農業者制度の普及を進めるとともに、新規就農者の経営安定の図る支援として「新規就農円滑推進事業」等を実施した。また、農業後継者協議会や所沢市4Hクラブの活動を支援し、次世代の農業者育成に取り組んだ。</p>								
基本構想で掲げた「まちづくりの目標の実現に向けた主な方針」の実行にあたって、特に力を入れていくこと。								
<p>○産業振興ビジョン推進会議を立ち上げ、産業振興施策の進行管理を行う。</p> <p>○企業誘致連絡会を立ち上げ、不動産事業者や金融機関と連携し企業誘致の推進を図る。</p> <p>○農商工連携や所沢ブランド特産品創出支援事業、地域資源活用・ものづくり総合支援補助等により、地元農産物等を使った地域ブランドづくりを積極的に進める。</p> <p>○「セカンドキャリアセンター事業」や「就労チャレンジ事業」を実施し、若者、女性、中高年、シニアを対象とする就職支援事業を積極的に進める。</p> <p>○COOL JAPAN FOREST構想に掲げられた、旧コンポストセンター跡地の利活用について、解体・改修工事を行うとともに、新たな施設の設計・建設・維持管理についてPFI方式により事業者の選定を行い、事業を進める。</p> <p>○2020年のオリンピック・パラリンピック及び所沢サクラタウンの開業を控え、増加が見込まれる訪日外国人観光客への対応力の向上及び効果的な情報発信を進めていく。</p> <p>○ICTを活用した効果的な情報発信につとめ、多くの方が所沢市を訪れるきっかけを増やしていく。</p> <p>○ダイアブラン観光部会、西武線沿線サミット、狭山丘陵観光連携事業など様々な連携を生かした観光振興を図る。</p> <p>○狭山茶の特色である「自園・自製・自販」の農業システムの日本農業遺産及び世界農業遺産の審査機関へ申請を行い、認定を目指す。</p> <p>○担い手の確保に向け、認定農業者等経営改善推進事業費補助金、新規就農円滑推進事業費補助金、農業後継者育成確保推進事業費補助金等による経営支援のほか、「認定農業者・農地所有適格法人等講演会」等により情報収集の機会を提供していく。また、所沢市農業後継者協議会や所沢市4Hクラブの活動を支援し、若手農業者の育成を図る。</p> <p>○「農のあるまちづくり」の推進に向け、所沢市独自の都市農業振興基本計画を平成31年度にかけ策定するとともに、体験農場の整備や体験農場利用者を対象に、技術講習会や、農業者と同じ農作業を体験する「本格的な農作業の一日体験」などの「体験農場利用者ステップアップ事業」を実施する。</p>								
評価日	H30. 7. 31	記入者職氏名	産業経済部次長 市川 博章					
指標の達成状況	第1節 農業	農地サポート事業の実績	単位	〈H25〉 現状値	H29年度 実績	H29年度 目標値	H30年度 目標値	
		新規就農者数	ha	3.4	5.9	2	2	
	第2節 商業	市内小売業の年間商品販売額	人	0	5.0	2	2	
		商店街空き店舗活用実績数	億円	2,574 (H24)	3,085 (H28)	2,800	2,800	
	第3節 工業	製造品出荷額	店	3	1	3	3	
		事業所あたり償却資産課税標準額(機械及び装置)(3か年平均)	億円	1,499 (H24)	1,628 (H26)	1,900	2,000	
	第4節 観光	商業観光課フェイスブックの閲覧者数	千円	13,549	13,305	14,700	15,000	
		観光客数	千人	107	416	180	200	
	第5節 労働・ 雇用環境	就労チャレンジ支援事業による就職者数	千人	5,739	5,226	6,700	7,000	
		中小企業退職金共済掛金等補助制度の新規利用事業主数	人	175	180	175	175	
		事業主	16	16	16	16		

第1節	農業	農業が活性化し、農業者と市民が共栄するまち			
基本方針	5-1-1 生産基盤の整備推進				
	5-1-2 経営基盤の強化				
	5-1-3 農のあるまちづくりの推進				
関係所属	農業振興課、農業委員会事務局				
施策に対する市民ニーズ(「平成29年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		670人	30.5%	32位	4位
節の基本方針への取り組み状況					
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○経営基盤の強化を図るため、農地所有適格法人等に対して農地賃借に係る費用の一部を補助した。また、新規就農者に対しては農地賃借及び農業機械購入に係る費用の一部を補助した。</p> <p>○農のあるまちづくりの推進のため、体験農場利用者ステップアップ事業を実施し、生産農家での本格的な農作業体験を通して生産者と消費者の交流を図った。</p> <p>○農地の出し手と受け手を取り次ぎ、農地の流動化を図った。</p> <p>◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>目標を達成した。</p>					
今後の方向性					
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○生産基盤の整備促進を図るため、認定農業者や農業後継者等の機械購入に対する補助事業を行う。</p> <p>○農のあるまちづくりの推進のため、とことん市事業や体験学習型所沢農産物PR事業等のPR活動を実施し、所沢農産物の魅力を多くの市民へ伝え、消費の拡大及び地産地消の推進を図る。また、農業への理解と関心をより深めてもらうため、体験農場推進事業を実施していく。</p> <p>○経営基盤の強化のため、担い手の育成・確保に努め、関係機関と連携して新規就農者等への支援を行っていく。</p> <p>○農業者の経営規模の拡大または縮小の意向を把握し、担い手への集約化を推進する。</p> <p>◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <p>目標を達成した。</p>					
特に力を入れる事務事業		地産地消推進事業		新規就農円滑化推進事業	
体験農場推進事業					
評価日	H30.7.31	記入者職氏名	産業経済部次長 市川 博章		
第2節	商業	活力とにぎわいにあふれた魅力ある商店街が身近にあるまち			
基本方針	5-2-1 魅力ある商業の振興				
	5-2-2 経営基盤の強化				
	5-2-3 商業環境の整備				
関係所属	産業振興課、商業観光課				
施策に対する市民ニーズ(「平成29年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		746人	34.0%	27位	3位
節の基本方針への取り組み状況					
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○旧コンポストセンター跡地の利活用に係る基本計画の策定及び残存施設の解体・改修工事の実施設計を行うとともにPFI方式による利活用方法を検討した。</p> <p>○商店街の振興を図るため「魅力ある商店街創出支援事業補助金」などを交付したり、中心市街地の活性化を目指し、野老澤町造商店の運営費の分担金を交付するほか、「中心市街地にぎわい創出支援事業補助金」を交付するなど中心市街地のにぎわい創出に貢献した。</p> <p>◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○商店街空き店舗活用実績は、相談はあるものの実態や立地が出店者の要件と合わない等により応募に結びつかないことが要因と考える。</p>					
今後の方向性					
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○旧コンポストセンター跡地の利活用について、解体・改修工事を行うとともに、新たな施設の設計・建設・維持管理についてPFI方式により事業者の選定を行い、事業を進める。</p> <p>○「魅力ある商店街創出支援事業」により、商店街のハード及びソフト事業の支援を行い、商店街の振興・発展を図る。</p> <p>○平成30年度から県の支援事業「NEXT商店街プロジェクト」において、和ヶ原商店街と所沢駅周辺から新所沢駅周辺までを一帯とする商業エリアの活性化に向けて、若手事業者を中心とした各関係者と共に新たな担い手の創出、遊休不動産等を活用した創業支援等を行っていく。</p> <p>◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <p>○商店街空き店舗活用では、県が運営する空き店舗サイトへのリンク張りの周知を図る等、さらなる制度のPRを行う。</p>					
特に力を入れる事務事業		旧コンポストセンター跡地利活用事業		魅力ある商店街創出支援事業	
評価日	H30.7.31	記入者職氏名	産業経済部次長 市川 博章		

第3節	工業	個性豊かで、競争力のある企業が発展できるまち			
基本方針	5-3-1 生産基盤の整備				
	5-3-2 付加価値向上支援				
	5-3-3 地域に根ざした産業の育成支援				
関係所属	産業振興課				
施策に対する市民ニーズ(「平成29年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		576人	26.2%	38位	5位
節の基本方針への取り組み状況					
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ○産業振興ビジョン策定委員会を4回開催し、産業振興ビジョンを策定した。 ○「COOL JAPAN FOREST構想」を推進するため、(株)KADOKAWAとの建設計画協議を行うとともに、(株)KADOKAWAの建設工事や運営まで地元企業を活用するため「地元企業活用ワーキング」を所沢商工会議所内に組織し、地域経済の振興を図った。 ○企業誘致の推進を図るため、企業立地支援制度のポスターと、チラシを2000部作成し、各方面に積極的にPRした。 ○所沢ブランド特産品を創出するため、開発事業者への補助事業を3件採択し、支援した。 <p>◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ○目標指標である「製造品出荷額」の最新実績が26年度実績であるため達成度の評価ができない。 					
今後の方向性					
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○産業振興ビジョン推進会議を発足させ、年3回開催し、地域経済動向調査等を基に事業の進行管理を行う。 ○都市型産業の誘致・育成を図るため、対象事業者を募集し、補助事業者を決定する。 ○所沢ブランド特産品を創出するため、補助事業と認定事業、販路支援事業を実施する。 <p>◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生産性向上特別措置法の施行により、市が設備投資を行う中小企業を認定し、経営支援していくことで、「製造品出荷額」の増加につなげたい。 					
特に力を入れる事務事業		企業誘致推進事業	産業振興ビジョン推進会議事業	所沢ブランド特産品創出支援事業	
評価日	H30.7.31	記入者職氏名	産業経済部次長 市川 博章		
第4節	観光	魅力ある地域の資源を発信し、多くの人々が集うまち			
基本方針	5-4-1 観光情報発信の充実				
	5-4-2 観光資源の整備・活用				
関係所属	商業観光課				
施策に対する市民ニーズ(「平成29年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		996人	45.3%	11位	1位
節の基本方針への取り組み状況					
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光ガイドブック及びお出かけ・ナビの内容を更新し、広く所沢市の観光資源をアピールするとともに、ホームページやSNS(フェイスブック・ツイッター等)を活用し、所沢市の魅力を多角的に発信することに努めた。また、ロケーションサービスを積極的に取り組み、所沢市のPRに成果を上げた。 ○所沢市の観光資源を訪日外国人観光客に効果的にアピールしていくため、訪日外国人観光客向けの旅行者等を対象としたモニターツアーを実施した。 <p>◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ○入込観光客数が目標未達の原因は、民間の大規模なイベント開催が減少したことや、悪天候によるイベントへの人出などが影響したものと考える。 					
今後の方向性					
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○所沢市の観光資源の魅力、SNS等を活用し効果的に発信していく。 ○2020年の東京オリンピック・パラリンピック等を迎え、増加が見込まれる訪日外国人観光客のニーズに的確に対応し、より多くの方が所沢市を訪れるように努めていく。 ○フランス航空教育団が来日して、2019年に100周年を迎える機会を捉え、在日フランス大使館、在日フランス商工会議所や関連企業等と連携して取り組まれる、記念式典等をはじめとした「航空発祥の地 所沢」を広く内外にPRする活動を支援する。 <p>◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○狭山丘陵の魅力発掘・向上については、「狭山丘陵観光連携事業推進実行委員会」の東京都の自治体を含めた広域の連携により、観光振興策について検討していく。また、本年より所沢市が加わった「西武線沿線サミット」の枠組みを生かし、トコろんを活用するなど連携する自治体のイベントに参加し所沢市の魅力を発信していく。 					
特に力を入れる事務事業		インバウンド戦略推進事業	フランス航空教育団来日100周年記念イベント開催支援事業	ロケーションサービス事業	
評価日	H30.7.31	記入者職氏名	産業経済部次長 市川 博章		

第5節	労働・雇用環境	地域で安心して働ける環境があり、充実した就労支援が受けられるまち			
基本方針	5-5-1 就労支援の充実				
	5-5-2 勤労者福祉の向上				
	5-5-3 労働環境の改善				
関係所属	産業振興課				
施策に対する市民ニーズ(「平成29年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		944人	43.0%	14位	2位
節の基本方針への取り組み状況					
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「セカンドキャリアセンター所沢事業」や「就労チャレンジ支援事業」など若者や女性、シニア等の就労支援事業を強力に取り組み、就職者の増加につなげた。 ○中小企業で働く従業員と事業主の福祉の向上を図るため、所沢市中小企業勤労者福祉サービスセンターの円滑な運営を支援した。 ○ラーク所沢の利用者を増やすことにより、勤労者福祉等の向上につなげた。 <p>◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>目標を達成した。</p>					
今後の方向性					
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○引き続き「セカンドキャリアセンター所沢事業」や「就労チャレンジ支援事業」など就労支援事業に取り組む。 ○中小企業で働く従業員と事業主の福祉の向上を図るため、所沢市中小企業勤労者福祉サービスセンターの円滑な運営を支援する。 ○勤労者の福祉を向上させるため、ラーク所沢内の各種施設や事業を改善し、昨年度より利用者の増加を図る。 <p>◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <p>目標を達成した。</p>					
特に力を入れる事務事業	セカンドキャリアセンター所沢事業	高校生向け労働セミナー開催事業	ラーク所沢施設整備事業		
評価日	H30.7.31	記入者職氏名	産業経済部次長 市川 博章		